

発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能 正一郎

五省会ニュース

五省

- 一 至誠は悔るなかりしか
- 一 言行に恥るなかりしか
- 一 氣力に欠るなかりしか
- 一 努力に憾みなかりしか
- 一 不精に怠るなかりしか

信頼と奉仕

良い医療を提供

医療法人財団五省会西能病院(西能正一郎院長以下百二十五人)は、一昨年五月から第三期増改築工事をおこなってまいりましたが、工事が完了し、三月二十一日、同病院五階会議室で竣工式を挙げる。新装の病院は百八十五床。内科を強化し、内科病棟を新設しました。そして、整形外科、リハビリテーション科、形成外科と共に充実した医療設備で、新しい時代の病院として、「信頼と奉仕」をモットーに地域の皆さまに良い医療を提供していく覚悟でございます。

三月二十一日、増改築竣工式



新装・明るく快適な西能病院＝北側から見た病院全景

第三期増改築竣工のごあいさつ

西能 正一郎

二カ年近い歳月を経て、西能病院の第三期増改築工事がようやく完成いたしました。今回の工事は、(1)エネルギー棟の新築、移転(2)増築棟の新築、移転(3)旧棟の改築、連結と、三工に分けて行われました。その間、設備の不十分な仮設状態で業務を遂行せねばならない職員一同の苦勞は止むを得ないこととしても、さまざまな騒音や衝撃が院内に充滿し、埃が渦巻きながら野戦病院のような環境の中で療養をされていた患者さん達に對しては、胸の痛くなる思いの毎日でありました。あらためて深くお詫び申しあげるとともに、「このような病院を、ようこそご利用下さいました」と、心からあつく御礼申し上げます。

最新設備で患者さんの安全

内科病棟を新設、理想の病院像へ

四十二年八月、第二期工事が完了しました。更に増築をする夢が私の胸中に芽生えて、何回となく設計図を書き替えてはみましたが、次第に逼迫してくる医療環境下にあつては、見果てぬ夢にすぎません。一方各地で大型の火災が発生するたびに、消防法や建築基準法が改められ、第二期工事は十分な指導を受け完全であると許可されていた病院の建物が、十年も経たないうちに、不適格建築物となり果て、改築するようになり、お役所のきびしい指導を受ける羽目になりました。この病院の改築はもはや自分の夢を叶えることではなく、使命として果たさねばならないこととなったのであります。

近頃は出口のないトンネルの中にある医療経済の下で、新規事業に手を出すことは、賭にもならない暴挙と考へるのが常識ではあります。患者さんの安全を旗印に敢えて改築に挑戦したのであります。そしてこの機会に、私の二十年の病院運営の経験から描いてきた理想の病院像の完成に向かつて職員諸君と共に苦勞を重ねてまいりました。改築工事を行う際は、診察業務を中断しなければなりません。そこで業務を続けるため増築に踏み切りました。一挙に床面積が二倍に広がりましたので、ゆとりの出たスペースの一部をリハビリテーション部や、手術部、検査部門の拡充と最新機器の導入、更に、将来の発展を見通しての十分な床面積の確保にあて、また一部は患者さんの居住性の改善のためのスペースに充當して、残りを主として内科の病床といたしました。

また、富山医大、第一内科よりご協力いただくスタッフは、糖尿病、リウマチ、ぜん息などの特殊外来を開設して、専門的研究の成果を生かしていただけています。又神経内科や和漢薬のクリニックも予定されていますので、きつと地域の皆様のお役に立つと存じます。長い間、職員一同が夢に見た病院が動き出すとしております。今日のために、三年も前から補強され、訓練を終えた一同が、貯えた力を発揮する時を待ち焦がれております。新生する西能病院に皆様のあたたかいご理解とご協力をお願い申し上げます。

あすなろ

百四十年前、ベルギーからハワイの離れ小島のライ病棟へ布教にきた一神父があった。健康で氣品ある三十代の美青年だった。ダミアン神父という。しかし患者は、あんなとりすました別世界の人間にライを病む人間の心がわかるか、と心を閉ざしてそっぽを向いた。どんなに努力しても話さず聞いてくれぬのを知ったダミアンは、彼等に融け込むため自らライ患者になることをひそかに誓った。患者とともに食事し入浴し治療を手伝い日夜接触を重ねて十年が過ぎた。ある日、手がしびれて、やがて「を落とした。足に熱湯がかかったが熱くない。ダミアンはいかにライ菌がとりついたことを知った。体が崩れ顔が崩れてきた。腐った夏ミカンのような肌、ぶくぶくにくれ上がつて耳は二倍になり鼻はひしゃげ異様な老人の顔に変わった。ダミアン神父が死んだのは一八八八年。四十八歳である。今は神父に心服しキリスト教に帰依した島のライ患者以外にはだれも知らぬひそかな死であった。日本の彫刻家、舟越保武は、ふとしたことで彼のことを知り、晩年のライを病む神父のたった一枚の写真を入手した。醜悪というよりそのにじみ出る精神の高さに激しい衝撃をうけてこれを彫刻にした。この作品は今も名作といわれている。至誠を貫く、「言行」一致、信念に生きる激しい「氣力」、積み重ねた「努力」と「精進」、生命をかけた一日一日の「五省」の歩みは息づまるほど壮烈である。



お祝いのことば



富山県知事 中沖 豊

心強い地域の住民

五十七年五月に着手されました第三期増改築工事の完成を、心からお祝い申し上げます。西院病院長は、昭和三十七年、当時としてはあり得ない整形外科科の診療所として開設されて以来、地域の中心の病院として年々増設設備の拡充を図るとともに県内にあって初の医療法人化にも多大の貢献をされてきたことには誠に御慶びといたします。西院病院長はじめ関係各位の御熱意、御努力に対し深く敬意を表する次第であります。このように、包括的な医療が求められている時代に、貴院が一貫して救急医療として



富山市長 改井 秀雄

地域医療の拠点に

医療法人財団五会西院病院長の増改築工事の完成を、心からお祝い申し上げます。貴院が昭和三十七年に西院病院長の御熱意と御努力により開設されたことには誠に御慶びといたします。西院病院長はじめ関係各位の御熱意、御努力に対し深く敬意を表する次第であります。このように、包括的な医療が求められている時代に、貴院が一貫して救急医療として



富山県医師会 会長 本多 幸男

ゆるぎない信念に敬意

西院病院長の増改築工事の完成を、心からお祝い申し上げます。貴院が昭和三十七年に西院病院長の御熱意と御努力により開設されたことには誠に御慶びといたします。西院病院長はじめ関係各位の御熱意、御努力に対し深く敬意を表する次第であります。このように、包括的な医療が求められている時代に、貴院が一貫して救急医療として



衆議院議員 住 栄 作

貫かれた奉仕の精神

西院病院長の増改築工事の御竣工を、心からお喜び申し上げます。院長先生が昭和三十七年三月に富山市星井町で、収容施設十の病院として開設された、この二十年あまりの間に八百八十五床の大病院に建てられました。院長先生はじめ関係各位の御熱意、御努力に対し深く敬意を表し、衷心よりお祝い申し上げます。新病院は、これまでのものと比較して、床面積が倍以上になり、ベッド数が五割増というところでありますが、このことは、とりもなおさず、病院の環境改善といつても、院長先生が日頃、病院長の大原則として、「患者さんへの



病院五階以上にひびく日丸と病院旗



富山県社会福祉協議会 会長 横山 良一

あふれる人間愛に感謝

このたび、西院病院長の増改築工事の御竣工を、心からお喜び申し上げます。院長先生が昭和三十七年三月に富山市星井町で、収容施設十の病院として開設された、この二十年あまりの間に八百八十五床の大病院に建てられました。院長先生はじめ関係各位の御熱意、御努力に対し深く敬意を表し、衷心よりお祝い申し上げます。新病院は、これまでのものと比較して、床面積が倍以上になり、ベッド数が五割増というところでありますが、このことは、とりもなおさず、病院の環境改善といつても、院長先生が日頃、病院長の大原則として、「患者さんへの



金沢大学名誉教授 豊田 文一

医療サービスが使命

西院病院長の増改築工事の御竣工を、心からお喜び申し上げます。院長先生が昭和三十七年三月に富山市星井町で、収容施設十の病院として開設された、この二十年あまりの間に八百八十五床の大病院に建てられました。院長先生はじめ関係各位の御熱意、御努力に対し深く敬意を表し、衷心よりお祝い申し上げます。新病院は、これまでのものと比較して、床面積が倍以上になり、ベッド数が五割増というところでありますが、このことは、とりもなおさず、病院の環境改善といつても、院長先生が日頃、病院長の大原則として、「患者さんへの



お祝いのことば



京都府立医科大学名誉教授 諸富 武文

いまでも真摯な学徒

春二月、貴年の春に西院病院長の増改築工事の御竣工を、心からお喜び申し上げます。院長先生が昭和三十七年三月に富山市星井町で、収容施設十の病院として開設された、この二十年あまりの間に八百八十五床の大病院に建てられました。院長先生はじめ関係各位の御熱意、御努力に対し深く敬意を表し、衷心よりお祝い申し上げます。新病院は、これまでのものと比較して、床面積が倍以上になり、ベッド数が五割増というところでありますが、このことは、とりもなおさず、病院の環境改善といつても、院長先生が日頃、病院長の大原則として、「患者さんへの



社団法人日本病院会 会長 内藤 景岳

誠意と親切をつくし...

西院病院長の増改築工事の御竣工を、心からお喜び申し上げます。院長先生が昭和三十七年三月に富山市星井町で、収容施設十の病院として開設された、この二十年あまりの間に八百八十五床の大病院に建てられました。院長先生はじめ関係各位の御熱意、御努力に対し深く敬意を表し、衷心よりお祝い申し上げます。新病院は、これまでのものと比較して、床面積が倍以上になり、ベッド数が五割増というところでありますが、このことは、とりもなおさず、病院の環境改善といつても、院長先生が日頃、病院長の大原則として、「患者さんへの



富山県立中央病院 院長 村田 勇

深い絆の芽生えを確信

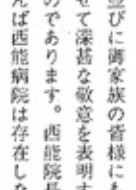
西院病院長の増改築工事の御竣工を、心からお喜び申し上げます。院長先生が昭和三十七年三月に富山市星井町で、収容施設十の病院として開設された、この二十年あまりの間に八百八十五床の大病院に建てられました。院長先生はじめ関係各位の御熱意、御努力に対し深く敬意を表し、衷心よりお祝い申し上げます。新病院は、これまでのものと比較して、床面積が倍以上になり、ベッド数が五割増というところでありますが、このことは、とりもなおさず、病院の環境改善といつても、院長先生が日頃、病院長の大原則として、「患者さんへの



医療法人生長会 府中病院 院長 岸 口 繁

一筋の道を行く生きざま

西院病院長の増改築工事の御竣工を、心からお喜び申し上げます。院長先生が昭和三十七年三月に富山市星井町で、収容施設十の病院として開設された、この二十年あまりの間に八百八十五床の大病院に建てられました。院長先生はじめ関係各位の御熱意、御努力に対し深く敬意を表し、衷心よりお祝い申し上げます。新病院は、これまでのものと比較して、床面積が倍以上になり、ベッド数が五割増というところでありますが、このことは、とりもなおさず、病院の環境改善といつても、院長先生が日頃、病院長の大原則として、「患者さんへの



富山県立中央病院 院長 村田 勇

心暖まる手厚い看護

西院病院長の増改築工事の御竣工を、心からお喜び申し上げます。院長先生が昭和三十七年三月に富山市星井町で、収容施設十の病院として開設された、この二十年あまりの間に八百八十五床の大病院に建てられました。院長先生はじめ関係各位の御熱意、御努力に対し深く敬意を表し、衷心よりお祝い申し上げます。新病院は、これまでのものと比較して、床面積が倍以上になり、ベッド数が五割増というところでありますが、このことは、とりもなおさず、病院の環境改善といつても、院長先生が日頃、病院長の大原則として、「患者さんへの



富山県身体障害者連合会 車椅子会長 志 鷹 小三郎

障害者の身になって

西院病院長の増改築工事の御竣工を、心からお喜び申し上げます。院長先生が昭和三十七年三月に富山市星井町で、収容施設十の病院として開設された、この二十年あまりの間に八百八十五床の大病院に建てられました。院長先生はじめ関係各位の御熱意、御努力に対し深く敬意を表し、衷心よりお祝い申し上げます。新病院は、これまでのものと比較して、床面積が倍以上になり、ベッド数が五割増というところでありますが、このことは、とりもなおさず、病院の環境改善といつても、院長先生が日頃、病院長の大原則として、「患者さんへの

内科、強力布陣で4月1日スタート

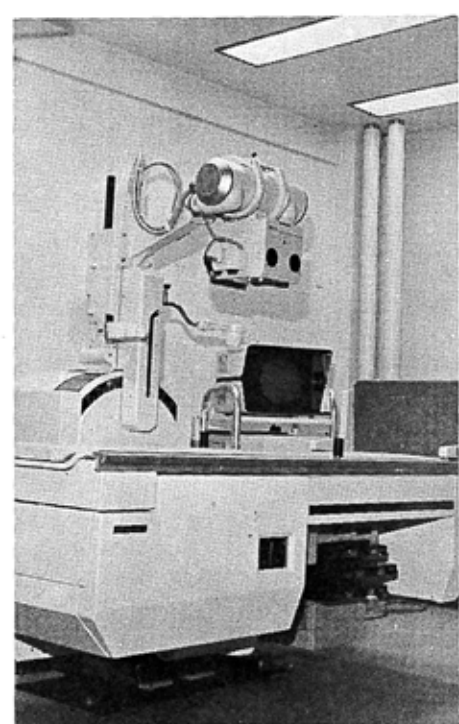
西能病院では過去三年間、週三回内科の外来診療及び整形外科入院患者の内科的管理を行ってきた。その経験から、病気になるのは決して一つの臓器、器官ではなく、人間が病気になるという観点から、新病院建設と同時に、さらに高度の医療を目指して、総合病院化を進めることになりました。

医学の発達と共に、新しい専門化が進んでいいます。人間の能力に限界があり、膨大な医学をすべて



全人的診療の総合病院へ

中尾 皖英



透視室に備えられた最新顕微鏡 東芝X線テレビ装置BV

て留得することは不可能であるという理由以外に、歴史的に顕微鏡の発達と器別の専門化が進み、次に

に生化学(医学)の進歩により、体中の物質が病気の時にどのような変化を起すか、という事がわかり、それぞれの物質ごとの専門化が進んできました。

熱意あふれる担当医師

西能病院は、安定したよい病院づくりを目指して四月一日から内科を充実、内科病棟を新設いたします。これに伴って、従来の外来診療体制(月・木・土を改正して、月・土まで毎日(午前八時三十分～正午)診療いたします。診察関係では、富山医科薬科大学のご協力により、同大学第一内科から中尾皖英、泉三郎、山下直宏、丸山宗治の諸先生を強力なスタッフをお迎えいたします。内科全般にわたりますが、ぜん息、糖尿病、リウマチが専門分野になります。諸先生から抱負などを聞いてみました。

呼吸器疾患のお役に



泉 三郎

私が毎週土曜日、西能病院で内科外来を担当させていただきましてから早いです。もう一年たとうとしております。その間、大学病院の外来とまた異なる、民間の第一線の病院での外来(整形外科と関連した患者さんが多いのですが)とい

うものを勉強させていただきまして。今回、西能病院に内科病棟が開設されることになり、私も第一内科の同僚である丸山先生が常勤されることは非常に喜ばしいことだと思います。私は一応、呼吸器病学を専攻(専門に非ず)して

リウマチ疾患を中心に



山下 直宏

西能病院にも、いよいよ内科の病棟が開設されることになり、これまで外来で協力させていただいてきた私としても非常に喜んでおります。大学病院では(内は)内分科、代謝、免疫・アレルギー、呼吸器系を主に専門としておりますが、

私は今後、西能病院においてリウマチ疾患を中心にみなさせていただきます。慢性関節リウマチは多くの関節を侵襲し、患者さんにとっては苦しい病気と同等に全身性の疾患でもあります。幸いこ

れまで関節症状については整形外科が治療に努力され、多大の成果を上げてこられました。今後は内科的な立場から治療に協力し、患者さんに少しでも快適な社会生活を続けてもらえるようがんばりたいと思っております。よろしくお願いたします。



丸山 宗治

皆さんと協力して頑張る

今春四月から西能病院に、整形外科に加えて、新たに内科病棟が開業されることになりました。私は、開業に際して、内科医として富山医科薬科大学第一内科より赴任することになりました。

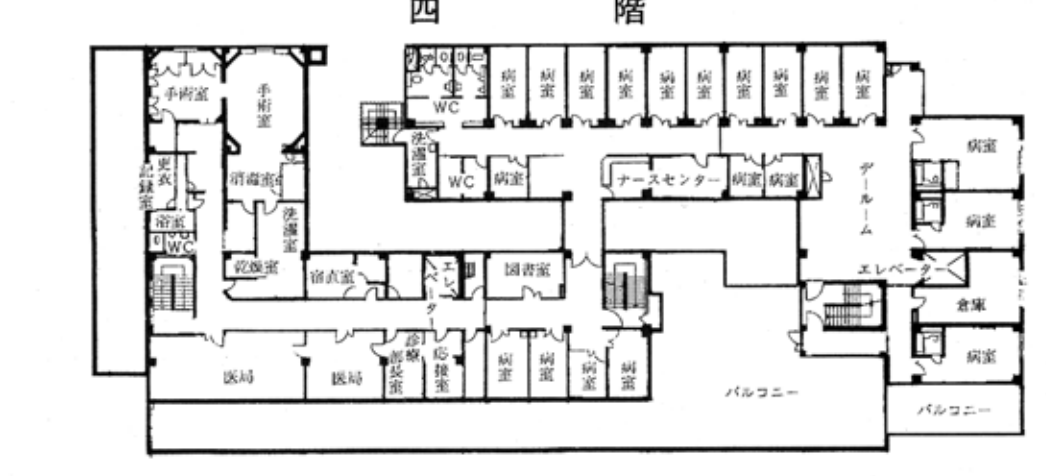
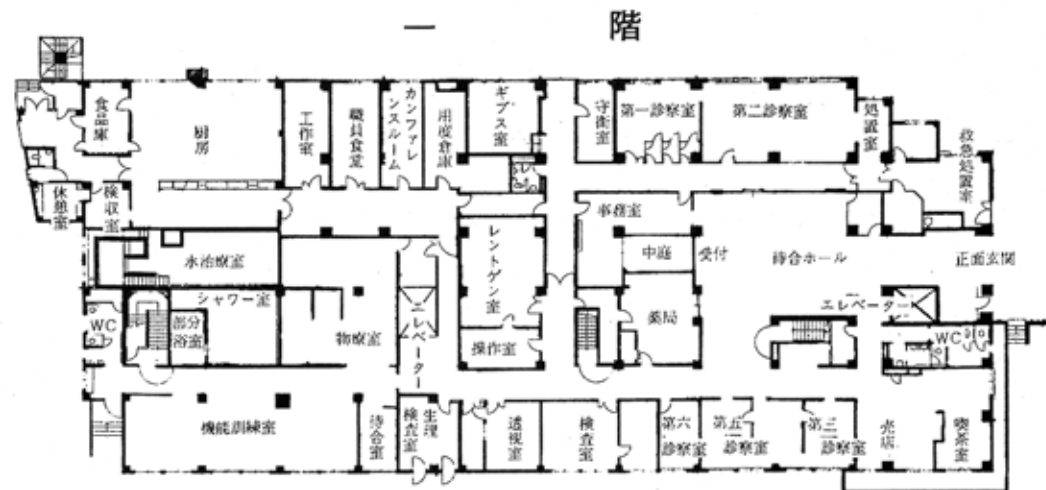
第一内科では、呼吸器疾患を中心に研修してまいりましたが、今後は、内科・整形外科の二科を標榜する西能病院の特色を生かして、消化器疾患の診断・治療面でも研鑽してゆく意向です。開業当初は、なにぶんすべてが初めてのことでありますが、何かにつけてまごつくことも多いと思っております。看護婦さんをはじめとすると、カルテの人達と一緒に、西能病院内科の発展、向上に頑張る所存です。

西能病院 二十一年の歩み

37年3月 富山市星井町40番地に西能整形外科医院を開院(収容施設10床)
救急車(プリンス)購入
38年10月 富山市五福1-130に西能整形外科病院建設着工(木造病棟)
38年12月 第二期工事完成、開設(34室16床)
39年5月 第二期増築工事完成、開設(27室7床)
40年4月 第一期増築工事完成、開設(27室7床)
41年12月 救急車(ジーブ)購入
42年3月 患者通院用のマイクローバス(三菱ローザ)購入。
42年10月 病院第二期増築工事着工(鉄筋コンクリート四階建て塔屋一階)
43年8月 第二期工事完成、開設(34室16床)
47年12月 外来及び医事部門の改装工事完成
48年7月 X線テレビ装置を設置
49年1月 病歴室を設置、病歴を整理分類
49年2月 外来患者累計50万人を突破
50年2月 リウマチクリニック開設
50年2月 外来医事部門コンピューター設置
51年12月 入院患者累計50万人を突破
53年4月 形成外科クリニック開設(北里大学市田先生)
53年5月 救急車(トヨタハイエース型)購入
55年6月 第六回日本病院学会(富山)で病院長が副会長
55年11月 新設病棟(三葉ふそう)購入
55年11月 第六回日本病院学会(富山)で病院長が副会長
56年9月 第三期増築工事着工
56年9月 第七回日本病院学会(神戸)に病院長以下十八人出席
57年7月 第八回病院学会(東京)に病院長以下五人出席
57年9月 増築棟が完工、業務を開始、既設棟の改装工事に着手
57年12月 社会福祉協議会西能基金百万円寄付(第九回)
58年3月 既設棟工事完成、入院患者、増築棟から既設棟へ移転



西能病院の平面図



シャンデリアが輝く待合ホール

がっちり不燃化

完成した西能病院の概要

西能病院が第三期増設工事に取りかかったのは一昨年の五月。増築の鉄筋五階(一部六階建て)が昨年九月二十日に完成した。入院患者を既設棟から増築棟に移し、すべての業務を増築棟ではじめた。

直ちに既設棟の改築工事に着手、この三月に完成した。とくに、内装材の不燃化、完全な排煙設備、自家発電などが、この工場の目的であった。そして、患者サービス、を積極的に取り入れ、明るく快適なムードづくりを心がけた。(左図は、完成した西能病院の平面図)

△職員数 百二十五人 (昭和五十八年三月十日現在)
△病床数 百八十五床
△診療科目 整形外科、内科、リハビリテーション科、形成外科
△各種指定、承認 救急指定病院、保険医療機関、救急救急取扱機関、生活保護法、結核予防法、労働保険医療機関、原爆被害者一般医療機関、基礎給食基準器具持一類看護、更生医療、育成医療指定医療機関、身体障害者運動療法施設(リハビリテーション)

△敷地面積 四千五百七十八平方メートル
△建物構造 鉄骨コンクリート造り一部鉄骨耐火造り
△建物延べ面積 六千七百二十九平方メートル
△最高高さ 二十一メートル
△駐車場 四十台収容

健康法の問題 (14)

矢野 三郎

七十種類の健康機器

流行の波が大きい経験医学

健康法の問題は相変わらず「マスコミ」を賑わして... 現在、健康法にいて一般の人たちが情報... 健康法の問題に科学的に証明されていないが...

家族になりきって

皆様の親切に感謝

私が昨年十月、西能病院に入院して最初に受けた印象は、まずきれいな設備で、つきに先生はじめ看護婦の皆さまが親切なことでした...

増改築竣工おめでとうございます

—入院患者さんから—

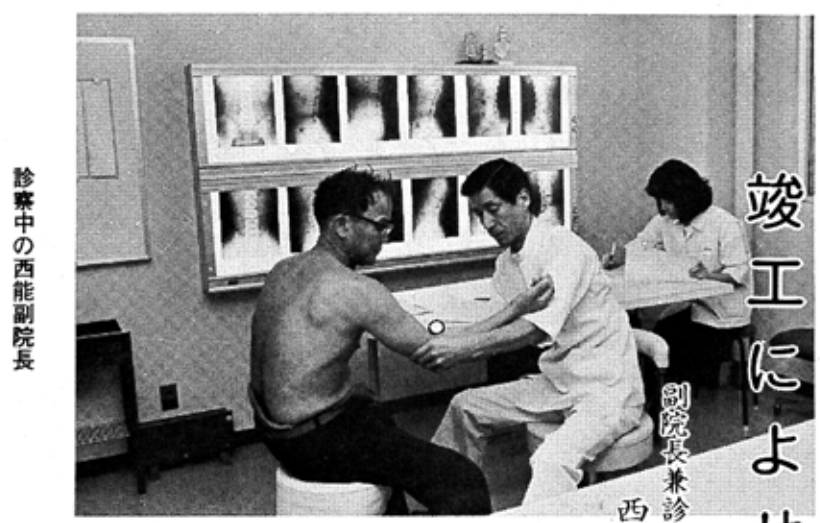


目を楽しませるシャンデリア

院内にあふれる思いやり

このたび、近代医学に近づいたスマートフォン... 院内にあふれる思いやり... 病室は明るくスマートで...

竣工によせて



待ちに待った増改築工事が完了しました。約二年間におよぶ長期の工事であり、この間患者さんには大変な御迷惑をお掛けしたことを診療部を代表してお詫言申し上げます...

成しました。ほんとうにありがとうございました。診療部では診察開始時間の繰上げや、患者さんの誘導等について努めました...

永年勤続者を表彰 開院21周年記念式

第三増設工事が完了した西能病院の開院21周年記念式が、三月二十一日、午後九時半、五階ホールで行われました...

思い出を語る

中島 みなさんから三十四年(三十七年)の開院(三十九年末まで)の多忙時の思い出話には先にも聞きました。そんなとき、院長一人での回診は大変だった。院長一人での回診は大変だった...

ねんりん

西能病院のあゆみ

川西 もう大変で、手術にしても朝方までかかったこともあり、みんな、よくやりました。院長一人での回診は大変だった。院長一人での回診は大変だった...

夜中に回診、こんばんわ

京都で救急車の指導を受ける

よくわかりました。と、高山で初めての救急車が昭和三十八年八月に導入された。この救急車を運転された石倉さんが購入した話を一...

わたしは「こう思う」

終戦と同時に海軍解散、郷里に帰った西能少年... 海軍教育... 西能病院 西能 正一郎

「塾」設立の夢抱く 恩師に諭され、あきらめる

なるほど神様みたいなもの、自分の好きなようにある、自分でできたわけ... 西能病院 西能 正一郎

強烈だった海軍教育 “五省訓” は私の大切な宝

めは調子が合わんでね。変もの足りない気がして... 西能病院 西能 正一郎

わたしは「こう思う」... 西能病院 西能 正一郎

☆☆☆☆☆☆☆☆

美しいものが 見えてきた

〈第十三信〉
松下英勝

☆☆☆☆☆☆☆☆

車イスの私に贈られたお年玉

一月下旬のある日、姫路市大手前の交差点で急ぎ道路を横断しようとした私の車イスのキャストが、歩道と車道の段差のくぼみにひっかかり、私の体は車イスから投げ出され、交差点の中でぶざまに横倒しになりました。一刻も早く車イスに乗らなければと、冷や汗

をかき、焦りました。その時四、五人の見知らぬ通行人が走り寄り(私は気が動転してその人たちが男の人か女の人か、いくつぐらいの人かも分かりません)車イスへ私の体を乗せて下さり、後ろ向いた時にはその人たちは居られませんでした。自転車に乗った中年の男

性が、私が信号を渡り切るのを一緒に来て励まし、安全を確かめ私から去りました。私は体重が八十キロもありました。その巨体を抱き上げてもらったのに、大勢の視線を浴びていたためか、そのときとつきにお礼の言葉が出なかつたのです。それを今、とても恥じています。心からお礼申し上げます。

実はこの日、自分は一入でお正月を祝っていたのです。いつも人様にはお世話にばかりなっている自分。人並みにお正月に車イスで外出すれば多くの人に迷惑をかけると思ひ、結局混雑しない一月二十五日を、私の正月の外出日にしたのでした。私の正月に皆様から親切というお年玉を頂きました。お年玉ありがとうございます。

中島様、皆さまにはお変わりありませんか。姫路地方にも雪が降りました。作業中に、なんの気なしに窓外を見ると、ほんの暫くの間に雪が舞ってました。自分がとって、雪は即、富山につながら、雪は富山での十二年間を思い出させ、懐かしさ、ひとしお

身にしみました。今日、ペンをとりました。自分にとって嬉しいことがあったからです。それは、神戸新聞朝刊の「発言欄」に自分の投書が採用されたのです。とくに嬉しいのは、職業を紹介するところに「軽作業員」とあります。

「軽作業員」に、ささやかな喜び

「ケイサギョウイン」何度か何人も一人の中で、ニタニタしていません。嬉しいですね。これから「職業は」と

昨年暮から今日まで、わずかの間ですが、自分は作業に精を出しました。ウンコもコントロールし、負けてはおりません。これからは頑張るつもりです。

オレ、いま幸せのような気がします。「生きていてどうなる」。この病院工事も、ほとんど終り、みなさま、お忙しだと思いますが、体には、くれぐれも気をつけてください。

なつみちゃんと遊んでいるときが一番幸せなみねさん



大地を踏む

富山市堀川町二四三
四ツ谷みねさん(五六)

ベッドで、孫のなつみちゃん(八カ月)を抱きかかえたみねさんは、チビ、チビ、ほーら、おばあちゃんが作った人形だよと、あやしながらい

満悦だ。いろいろなオモチャが、なつみちゃんを占領してしまつた格好である。「いま一番楽しいのはチビと遊んでいるときです。足の具合もよくなり、チビをおんぶできるまでになりました。ところが家のものが、無理しないで、じつとしておられ」と心配するのです。でも、

「とにかく、昔と今は地獄と天国です。疼痛がひどかつたときは眠るヒマもないくらいに、イタ

節症と診断され、手術をすすめられた。しかし、夫の勤務の関係もあり、五十年三月に入院、右股関節固定術をおこなった。左の方は様子を見ることにした。

幸せを抱きしめて

退院後、ベッドに切りかえた。外へ出るときは一本杖に頼るが、家の中では使わない。左ひざの筋肉が疲れたときに軽く痛み程度で、右側は痛みを覚えない。

「病院のみねさんが病

医療法人 西能病院の診療体制

内科は4月1日から実施、3月中はこれまで通り

●年中無休・24時間受付の診療体制を敷いております。●救急車(2台)は、要請により出動致します。

一般受付時間 (日曜・祭日は休診)

診療科目	午前	午後
整形外科	月～土 8:30～12:00	月～土 16:00～19:00
リハビリテーション科	月～土 8:30～12:00	月～土 13:30～19:00
内科	月～土 8:30～12:00	月～土 病棟回診
形成外科	毎月1回 8:30～12:00	(診察日は受付で おたずねください。)

医療コンサルタント (毎週土曜14:00～16:00)

新たに医療相談日を設けました。(院長、又は副院長が相談にあたります)整形外科の病気はもちろん、関連ある色々な病気について治療・予防のためのアドバイスを致します。又ご希望があれば専門の医師への紹介も致します。お気軽にご利用下さい。事前に、受付に時間予約をして下さい。(TELでも可=0764-41-2481代)

メディカル・ソーシャルケースワーク (毎日8:00～17:00)

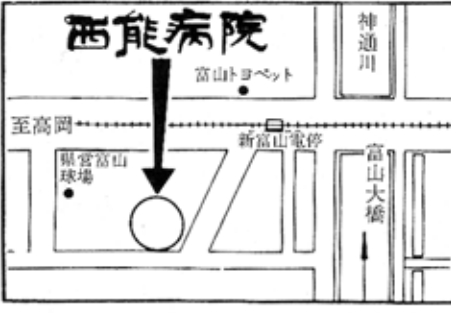
医療費や入院などにかかわる経済問題・退院後の生活設計など、病気以外の心配事や悩みに専門のケースワーカーが親身になってご相談に応じます。(秘密厳守)ご遠慮なく、受付や看護婦に申し出て下さい。

栄養指導 (毎週水・土)

現代病といわれている肥満・糖尿病・その他の病気にたいして、専門の栄養士が具体的な食生活を指導致します。受付にお申込下さい。

重病患者さんの送迎について

重症のため、一般の車で搬送できない患者さんには、入退院にあたって、病院の患者専用車をご利用いただけます。受付に申し出下さい。



《交通機関》 市内電車……………新富山電停下車・徒歩2分
 地鉄バス……………新富山停留所下車・徒歩2分
 通院バス(順路)……西能病院→富山大橋→丸の内→新富町→富山駅→桜橋通り→西町→旅籠町→丸の内→富山大橋→西能病院
 (①は通院バス常時停留所、その他臨時停車します。)